



7月22～23日 町内懇談会

育友会主催による町内懇談会を、本年度は上野町・銭湊町・大日町・琴平町の4町内において開催いたしました。

各会場には、自治会の役員の皆さま、民生委員の皆さま、杉の子パトロールの皆さま、そして保護者の方々にご参加いただき、地域ぐるみで子どもたちの安全・安心を支えるための意見交換を行いました。

当日は、育友会と学校から本年度の方針や取組について説明を行うとともに、通学路の危険箇所や子ども連絡所の確認、さらには日ごろの子どもたちの様子を踏まえた多くのご意見やご提案を頂戴しました。

あいさつの習慣について

「地域の方に元気な声であいさつをしてもらえるとうれしい」というご意見をいただきました。私もまったく同じ思いです。毎朝登下校を見守ってくださる方々には、「今日もありがとうございます」という感謝を込めて子どもたちからあいさつしてほしいと願っています。防犯上「知らない人に声をかけない」という指導もありますが、緑のベストを着て見守る皆さまは子どもたちを支える地域の方々です。これからも、あいさつや感謝の心の大切さを子どもたちに伝えてまいります。

集団登校のようすについて

「列が乱れていて、まとまって登校できていない様子が見られる」とのご指摘もありました。集団登校は、子どもたちの安全を守るための大切な取組です。班長を中心に列を整え、落ち着いて登校できるよう、学校でもあらためて指導を徹底してまいります。

また、杉の子パトロールの皆さまはご自身の町内に限らず、前を歩くすべての子どもたちに目を配ってくださっています。保護者の方が車で送迎される場合には、「今日は車で送っています」といった一言を、道に立ってくださっている方にお伝えいただけるとありがたいです。登校状況を共有することで、不要な心配を避けることができ、見守り活動もより安心して行っていただけます。

下校時の安全対策について

雷や熱中症への対応についても、保護者の皆さまからご質問がありました。

雷については、気象庁が提供している「雷ナウキャスト」を活用し、雷雲の接近が予測される場合には、下校時刻を調整することがあります。その際は、学校配信メールにて保護者の皆さまにお知らせいたします。

また、熱中症対策としては、学校では日傘の携行を認めております。暑さが厳しい日には、必要に応じて持たせていただけますようお願いいたします。

地域の皆さまからの率直なご意見と温かなまなざしに、心より感謝申し上げます。これからも地域と学校が連携しながら、子どもたちの健やかな成長を見守ってまいります。

7月23日 消防施設研修



本校学校運営協議会委員で元日田玖珠広域消防組合消防監の金子徹氏を講師にお迎えし、教職員を対象とした消防施設研修を実施しました。

研修では、火災報知器や防火扉、屋内消火栓、消火器等の仕組みや役割、日常点検のポイント、そして非常時の対応手順について、実際の設備を確認しながら丁寧にご説明いただきました。

万が一の事態に備え、教職員一人一人が校内の消防設備についての理解を深め、安全管理の意識を高める貴重な機会となりました。

※訓練の詳細は学校ホームページをぜひご覧ください。

8月6日 80年目の黙とう



広島に原子爆弾が投下されてから80年の節目を迎え、出校日を「平和を考える日」として過ごしました。午前8時15分、原爆で亡くなられた方々を全校で追悼し、世界の平和を願って黙とうを捧げました。その後、戦争や平和について学ぶ活動を行い、命の大切さや、みんなで仲よく助け合うことの大事さについて考えました。

私も、小学1年生のころから毎年この日に、平和について考えてきました。夏の太陽がまぶしく昇り、セミの聲がにぎやかに響くと、80年前の広島朝が、まるで自分が戦争を経験したかのように胸に迫ってきます。それは決して楽しい思い出ではありませんが、だからこそ、忘れてはいけない記憶として、心に刻んでいます。

これからも、命を大切に、みんなが笑顔でくらす「平和な未来」をみなさんといっしょに考え、つくっていききたいと思います。

夏休み中に環境整備

子どもたちがよりよい環境で安心して学べるよう、夏休み中にさまざまな環境整備を進めてまいりました。その主な取組についてご紹介いたします。

校訓石碑の整備

本校前庭にある石碑は、長年の風雨により石面の汚れや金文字の剥がれが目立っていました。7月



24日から2日間、地元・高瀬本町の加藤石工さんに丁寧に洗浄や塗り直しをしていただき、美しい姿によみがえりました。毎朝子どもたちが目にする言葉が、これからも心に届き続けてほしいと願っています。

クジャク小屋の解体

平成9(1997)年から約25年間にわたりクジャクを飼育してきましたが、令和3(2021)年に飼育を終えて以降、小屋は使用



されないままになっていました。8月9日と12日、大日町の木下建設さんにご協力いただいて撤去し、駐車場として整備しました。

スクールバス庫、農業倉庫に再活用

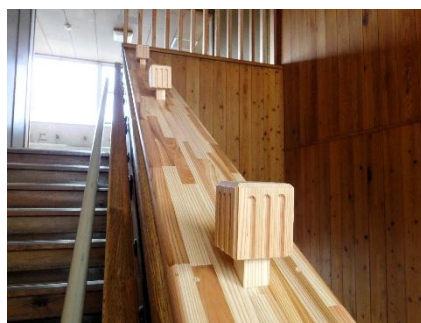
昭和58(1983)年から33年間活用されてきたスクールバス庫は、児童数の減少に伴い、平成28(2016)年度をもって役目を終



えました。今回、誠和町の高瀬工務店さんのご協力により、旧農業倉庫の壁板や扉を再利用し、新たに農業倉庫として生まれ変わりました。なお、職員室前の旧農業倉庫は解体し、跡地は駐車場として整備しました。

校舎階段の安全対策

8月22日には、3階の踊り場に柵を設置し、3階から2階へ下りる階段の手すりには滑り止めの



突起物を取り付けました。校舎が建設されてから33年が経ちますが、子どもたちの生活や成長に応じて必要な改善を行っています。特に今回は、手すりを滑り台のように使うことを防ぐための対策です。8月25日の始業式では児童への安全指導も行い、安全意識を高めていきます。

このように、夏休み中の限られた期間ではありましたが、地域の皆様や関係事業所のご協力をいただきながら、子どもたちの学びと生活を支える環境整備を進めることができました。これからも、安全で快適な教育環境を整えながら、子どもたち一人ひとりが安心して学びに取り組める学校づくりを進めてまいります。

詳しくは高瀬小ホームページをご覧ください！